

平和メッセージ

世界の恒久平和を実現することは、私たちが共通して願い求めていることです。

しかしながら、世界各地では未だ紛争やテロが絶えることはなく、多くの尊い命が奪われています。

昭和20年6月22日、私たちのまちでも各務原空襲により多くの方が犠牲となりました。私たちは、この日を「平和の日」と定め、戦争による悲惨な記憶を風化させないようにするとともに、平和への誓いを新たにするため、「平和の折り鶴」の募集・展示、「平和の日パネル展」などの平和事業を推進しています。

新たに令和の時代を迎え、昭和がさらにひとつ前の時代となっても、原爆の脅威・戦争の悲惨さを風化させることが無いよう、私たちは、世界で唯一の被爆国として、平和の尊さを次の世代に伝えていく必要があります。

皆様方の崇高な運動が大きな成果をあげられ、核兵器の廃絶と世界の恒久平和が実現しますことを、心より祈念申し上げます。

令和元年6月25日

各務原市長 浅野健司